

**具体的な施策・重要業績評価
指標（K P I）進捗状況評価票
【対象：平成 2 8 年度】**

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|---|-------------------------------|
| 基本目標 | 1 | 市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保 |
| 基本的方向 | 1 | 市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化) |
| 具体的な施策 | | 市内企業の経営支援 |
| 主担当課 | 経済観光課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|--------------------|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 融資実行件数 | 件 | 300 | | | | | |
| | | 292 | 283 | 252 | | | |
| | | / | B | C | | | |
| 商店街イベント事業補助金交付商店会数 | 件 | 32 | | | | | |
| | | 28 | 30 | 30 | | | |
| | | / | A | A | | | |
| 技術相談を行った件数 | 件 | 470 | | | | | |
| | | 463 | 456 | 407 | | | |
| | | / | B | C | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|------------------|---|
| 担当課 評価 | <p>金融機関からの借入れ利息に対して利子補助を行うことで、市内中小企業における金融の円滑化を図ることができたが、昨年度と比較すると、融資の実行件数は少なかった。また、中小企業退職金共済掛金については、263事業所、延べ26,124人分の補助を行うことで、勤労者福祉の向上と雇用の安定に寄与することができた。</p> <p>イベント事業に対する補助を継続して行うことで、30商店会、延べ48事業分の、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店街等への支援を継続することができた。</p> <p>昨今、専門的な技術相談件数は減少傾向にあるものの、府中市工業技術情報センターで専門相談員による各種相談実施を継続することができた。</p> |
| C | |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| | <p>資金融資の利子補助及び中小企業退職金共済掛金の補助を継続するとともに、平成28年度に見直しを行った中小企業事業資金融資あっ旋制度について積極的な情報提供を図るなど、更なる融資実行件数の増加を図っていく。</p> <p>イベント事業に対する補助を継続して行うことで、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店街等への支援を継続していく。</p> <p>昨今、都の施設の充実等により、専門的な技術相談件数は減少傾向にあるものの、他の補助金等申請支援相談や技術情報提供等を継続することで、相談件数の増加に努めていく。</p> <p>平成27年度の協議会評価を踏まえ、「産・官・学・金」等の連携を図り、人材交流についても他自治体の状況等を調査・研究していく。</p> |

- 評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上
 B：AとC以外の割合
 C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|---|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ について、利子補助・中小企業退職金共済掛金の補助は経営支援では有効なので継続して行ってほしい。しかし、融資申し込み件数が3年連続で減少しているのが融資実行件数も減少している原因と考えられる。減少理由の調査、必要によっては現状に則した見直しをする必要が出てきているのではないかと思う。目標を達成するためにも積極的なPRをしてほしい。 |
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・ の実績は昨年と同じで推移しているので、継続して事業を実施してほしい。 ・ については都の施設の充実により減少傾向のようだが、やはり地域で相談できる環境は大事だと思われるので継続して事業を実施してほしい。 |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|---|-------------------------------|
| 基本目標 | 1 | 市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保 |
| 基本的方向 | 1 | 市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化) |
| 具体的な施策 | | 多様な人材の就労支援 |
| 主担当課 | 住宅勤労課、地域コミュニティ課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、働く意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。 ・ 講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めます。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|---------------|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| いきいきワーク府中の就職率 | % | 36.8 | | | | | |
| | | 32.1 | 27.2 | 26.4 | | | |
| | | / | C | C | | | |
| 女性向け再就職支援の講座数 | 講座 | 現状値以上 | | | | | |
| | | 5 | 5 | 5 | | | |
| | | / | A | A | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|---|---|
| 担当課 評価 | <p>高年齢者の職業紹介事業は自所求人開拓に積極的に取り組むなど事業の拡大に努め、就職者数217人、来所者数1,733人、自所開拓求人数1,842人と都内でもトップレベルの実績をあげている。</p> <p>また、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターと共催等で、就職支援セミナー、合同就職面接会を行った。</p> |
| B | <p>再就職支援講座を5講座（延18回）実施し、出産や介護等の理由により離職した女性の再就職を支援した。</p> |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>ハローワークの求人情報に加えて、勤労者福祉振興公社が独自に集めた求人情報を提供して実施する概ね55歳からの無料職業紹介事業「いきいきワーク府中」に対して引き続き支援していく。求人数及び就職者のニーズに対応するため、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターとの連携を図っていく。</p> <p>引き続き、講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援していく。</p> | |

評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B：AとC以外の割合

C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|---|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> の実績については前年比0.8ポイント減少及び目標達成率マイナス10.4ポイントという結果であり、進捗評価はCであるが、現状の雇用情勢から判断すると前年比マイナス値は概ね評価できる。高年齢者の職業紹介事業に関しては積極的な取り組みが認められるものの、目標値達成に向けては改善、若しくは目標値の見直しも必要である。 |
| B | <ul style="list-style-type: none"> については目標どおり実施されており進捗評価としてはA評価である。なお、子育て中の再就職支援においては待機児童の問題があり、総合的支援と企業向けに子育て中、介護中の求職者のニーズに合わせた就労条件の整備なども実施してほしい。 |

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|---|--------------------------|
| 基本目標 | 1 | 市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保 |
| 基本的方向 | 2 | 起業・創業の推進による産業構造の多様化 |
| 具体的な施策 | | 起業・創業の支援 |
| 主担当課 | 経済観光課、協働推進課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 ・ 東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農における起業や創業に関する多様な支援を行います。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|-------------------------------|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 起業・創業に関するセミナー参加人数 | 人 | 90 | | | | | |
| | | 44 | 115 | 80 | | | |
| | | / | A | B | | | |
| コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談の参加人数 | 人 | 24 | | | | | |
| | | 6 | 24 | 10 | | | |
| | | / | A | B | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|---|--|
| 担当課 評価 | <p>起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく、創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保することができた。また、起業・創業に関するセミナー及び実践創業塾・体験型創業塾については6回延べ80人の参加があり、起業・創業希望者の継続的な支援を行うことができた。</p> |
| B | <p>また、平成28年度には、新たに体験型創業塾を実施することで、よりニーズに合った起業・創業支援を行うことができた。</p> <p>平成28年度は、前年度に引き続きガイダンス及び個別相談を実施し、6回延べ10人の参加があった。</p> |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助・制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保していく。また、創業支援プロジェクト機関における起業・創業に関するセミナー及び創業塾の開催を継続し、引き続き、起業・創業希望者の支援を図っていく。</p> <p>また、引き続き、むさし府中商工会議所で行う起業・創業に関するセミナー、創業塾及び個別相談の周知に努め、参加人数の増加を図る。</p> <p>平成29年度より指定管理者業務とすることにより、月1回のガイダンスまたは個別相談に加えて、普段の窓口業務でも軽微な相談を受ける体制をとり、ガイダンスまたは個別相談の参加促進を図る。</p> | |

評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B：AとC以外の割合

C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ については、セミナー3回42名（前年5回47名）、創業塾2コース30名（前年3コース26名）、体験型創業塾1回8名であったため、昨年比35人、目標に10人足りないという結果は残念であるが、1開催あたりの参加者は増えている点を評価したい。平成28年度は、体験出店の希望に答える形で、マルシェ開催時に出店ブースを設け、疑似体験を実施。参加者からは、実践での経験は、創業に向けて非常に役立ったと感謝の声が出ている。平成29年度には、前年に加えて、フォローアップセミナー（平成27年度2コース42人）を再開する予定であるため、目標達成を期待したい。 ・ については、対前年実績の半分以下であった点は、誠に残念である。平成29年度は、7月に完成したル・シーニュ5階に専用スペースが確保されたこと、また、指定管理者業務に移行することが予定されているため、目標達成を期待したい。 |
| B | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (KPI) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|--|---------------------------|
| 基本目標 | 2 | 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成 |
| 基本的方向 | 1 | 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出 |
| 具体的な施策 | | 市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進 |
| 主担当課 | 経済観光課、広報課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民や市内の事業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。 ・府中市の魅力を再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。 | |

1 重要業績評価指標 (KPI)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|-------------------------|----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 京王線府中駅における 1 日の乗降人員 | 人 | 現状値以上 | | | | | |
| | | 85,279 | 86,949 | 88,100 | | | |
| | | / | A | A | | | |
| 市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合 | % | 15.0 以下 | | | | | |
| | | 17.7 | 17.3 | 17.4 | | | |
| | | / | B | B | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|---|--|
| 担当課 評価 | <p>新たな観光資源として、本市が舞台として登場する人気漫画「ちはやふる」と・競技かるたを合わせたイベントを開催し、市内外からの誘客に努めた。（来場者数約4,000人）武蔵国 府中大使を活用した観光PR冊子「府中に夢中」を2万部作成し、市内外での配布を行い、広く本市の魅力の発信を行った。</p> <p>観光ボランティアによる、市内の観光スポットを巡る観光ガイドツアーを開催し、本市の魅力の発信と地域への愛着の向上を図った。（参加者数1,484名）</p> <p>広報紙を全面カラー化したほか、AR動画の活用を開始した。</p> |
| B | <p>駅前案内板では、東府中・白糸台・武蔵野台・中河原駅の多言語化を実施したほか、多磨霊園駅に新規設置した。</p> |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>「ちはやふる」を活用した活性化事業を拡大して実施し、観光資源としての定着と地域の活性化を図る。</p> <p>観光案内表示の多言語化及び中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の観光ガイドマップを作成し、外国人観光客の受入環境整備を進める。</p> <p>隣接する国分寺市や、京王線の沿線5市、南武線沿線の5市等と広域で連携し、効果的な情報発信・共同事業を実施する。</p> <p>広報紙・テープ広報の年36回発行、ホームページの適正な管理・運用、メール配信サービス及びツイッターの管理運用、テレビ広報を年36本製作・放映、駅前案内板の多言語化、市マスコットキャラクターの管理運用を行う。</p> | |

- 評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上
 B：AとC以外の割合
 C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ の実績は増加しているとも言えるが、自然増の範囲とも考えられる。昨年度の評価の際にも提案させていただいたが、市外からの来訪者数の増減が分かるようなデータの入手を試みてほしい。 ・ については変化していないが、イベントの開催やPR冊子の配布、ガイドツアーや広報紙のカラー化、AR動画の活用、駅前案内板の多言語化等、新たな取り組みを行っている点は評価できる。もし、それらを行ったことにより市民や来訪者の府中市への思いがどう変化したかが分かるような他の資料・根拠があれば提示してほしい。（無い場合は新たに調査を行ってほしい。） |
| B | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|--|---------------------------|
| 基本目標 | 2 | 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成 |
| 基本的方向 | 1 | 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出 |
| 具体的な施策 | | 地域の連携によるにぎわいの創出 |
| 主担当課 | 経済観光課、政策課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。 ・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|-------------------|----|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 休日のけやき並木通りの歩行者交通量 | 人 | 現状値以上 | | | | | |
| | | 19,378 | 19,378 | 15,586 | | | |
| | | 平成 27 年度の実績 | - | C | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ K P I の実績は減少しているが、これは駅前市街地再開発事業による工事が実施されていたこともあり、やむを得ないものと考えられる。 ・ 平成 29 年度に府中駅南口第一地区市街地再開発事業の完成したことによる効果が期待されるとともに、「一般社団法人まちづくり府中」がコーディネーターとなった地域連携による各種にぎわい創出の取り組み、オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議及びラグビーのまち府中推進委員会を軸とした各種事業が進められることから、今後の事業展開に期待したい。 |
| C | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | | | |
|--------|---|---------------------------|--------------|--|
| 基本目標 | 2 | 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成 | | |
| 基本的方向 | 2 | 郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成 | | |
| 具体的な施策 | | 歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実 | | |
| 主担当課 | 文化生涯学習課、スポーツ振興課 | 関連課 | ふるさと文化財課、美術館 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。 | | | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|---------------------------|----|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 郷土の森博物館 及び美術館の 入場者数 | 人 | 533,000 | | | | | |
| | | 489,602 | 498,579 | 569,685 | | | |
| | | / | A | A | | | |
| 大学やトップチーム と連携する事業数 | 事業 | 3 | | | | | |
| | | 2 | 2 | 3 | | | |
| | | / | A | A | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|------------------|---|
| 担当課 評価 | <p>郷土の森園内では計画的な植栽管理による梅まつりの実施や、魅力ある企画展（特に京王電車がとおったころ）の開催により、大幅な入場者増につなげた。美術館では5つの企画展及び常設展・所蔵品展の実施、公開制作や美術鑑賞教室等の実施、市内で活動するグループ・個人の展示による市民ギャラリーの利用（H28年度の総入場者数261,628人）など一定の成果を得た。</p> <p>総合体育館において市内の小学生等を対象にトップチームによるバスケットボール教室、フットサル教室及びチアダンス教室を実施した。競技未経験の参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声があがった。「府中アスレティックFC」や「アルパルク東京」の指導による市特有の事業として実行し、スポーツタウン府中の発展に寄与できた。市指定の無形民俗文化財である府中囃子は年間を通じ演奏技術の伝承を継続して実施し、武蔵国府太鼓は市民を対象とした講習会を年44回実施した。市史編さん事業では、市内の大学（東京外国語大学、東京農工大学）と連携して調査に取り組み、資料の収集、調査研究で大きな成果を得た。</p> |
| A | <p>郷土の森博物館では、今年度開館30周年を記念し、特別事業の実施や、常設展、梅まつり等を継続して実施し、郷土愛の醸成につながる取組とする。美術館では、6つの企画展及び常設展・所蔵品展を開催し、効率的な広報活動に努め来場者数の増加とともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。</p> <p>平成28年度で目標事業数の「3」を達成した。今後は事業を継続するとともに、参加者満足度の向上のため教室内容を工夫することにより、更なる充実を目指していく。</p> <p>市史編さん事業のなかで、引き続き市内の大学（東京外国語大学・東京農工大学）と連携して調査を進める。市の民俗芸能である府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成を継続して取り組む。また、府中囃子はCDを作成し市内外へ広く周知を図る。</p> |

- 評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上
 B：AとC以外の割合
 C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|---|
| 協議会 評価 | <p>・、とも目標を達成しており、取り組みの効果が表れている。KPIの項目以外にも積極的な取り組みが行われており、評価できる。今後も、より多くの市民が府中の歴史や文化、スポーツに親しめるよう、取り組みの継続及びさらなる充実に努めてほしい。</p> |
| A | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|--|--------------------------|
| 基本目標 | 3 | 若い世代の出産・子育てへの希望の実現 |
| 基本的方向 | 1 | 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり |
| 具体的な施策 | | 安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実 |
| 主担当課 | 子育て支援課、健康推進課 | |
| 施策概要 | ・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に係る母親の負担感の軽減を図ります。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|-----------------------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| Fu-CHU こそだて サイト「ふわっと」 アクセス数 | 人 | 現状値以上 | | | | | |
| | | 24,807 | 26,924 | 23,887 | | | |
| | | | A | B | | | |
| 産前産後家庭 サポート事業の 新規登録世帯 | 世帯 | 現状値以上 | | | | | |
| | | 213 | 224 | 220 | | | |
| | | | A | A | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|--|--|
| 担当課 評価 | <p>子育てサイトを継続して運営し、幅広く出産や子育ての支援に関する情報提供を行い、育児に係る不安の解消等を図るとともに、サイトのリニューアル及びアプリの配信開始に向けた構築を行った。</p> <p>産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安の解消等を図った。また、医師会の協力のもと、市内産婦人科等に事業周知のポスター・パンフレットを配布した。</p> <p>妊娠届出を行った全妊婦を対象として妊婦健康診査、超音波検査の費用助成に加え HIV 抗体検査、子宮頸がん健診も費用助成し、内容を充実させた。対象者 2,244 人、延べ 26,823 件の受診があった。また、母親学級を年 20 回、両親学級を年 10 回実施し、延べ 888 人の参加があった。離乳食教室、年 66 回（参加者延べ 1,522 人）親と子の歯みがき教室、年 12 回（参加者延べ 278 人）を実施した。健診・教室を実施し妊娠期から出産や育児についての不安の解消や子育て支援を行い、母子の保持増進及び安心して子どもを産み育てるため環境づくりに役割を果たした。</p> |
| B | |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>市民が使いやすいツールとして利用できるよう、子育てサイト及びアプリの適切な運用を行う。また、より多くの市民に利用してもらえるようにリーフレットの配布やメール配信サービス等により周知を図る。引き続き、産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児不安の解消等を図る。また、より多くの市民に利用してもらえるよう、子育てサイトやメール配信サービス等により周知を図る。</p> <p>平成28年度に引き続き事業を実施する。健診や教室について更に周知を図り、また、内容等を充実させ実施する。</p> | |

- 評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上
 B：AとC以外の割合
 C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|---|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ については、サイトのリニューアルおよびアプリの配信開始の構築を行ったことは評価できるが、外部子育て関連の情報へのアクセスは少ない。市内の子育て情報を関連団体などと協働し情報の共有を広げることが必要である。そうすれば、より市民が使いやすい情報となり、アクセス数の増加も期待できるのではないか。 ・ については、事業周知は配布や掲示だけでなく、説明する機会や場を増やし対象世帯に伝えることが必要である。また、受け入れる事業所が少ないのではないか。気軽に相談したり、子育てを学んだりする機会として、助産師や産後ドゥーラ、また、地域のまちづくりや子育てひろばなどにおける相談などと協働して、不安の解消や子育て支援を幅広く受けとめる体制づくりを進めてほしい。 |
| B | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (KPI) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|--|--------------------------|
| 基本目標 | 3 | 若い世代の出産・子育てへの希望の実現 |
| 基本的方向 | 1 | 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり |
| 具体的な施策 | | 安心して子育てができる環境の整備 |
| 主担当課 | 子育て支援課、保育支援課、健康推進課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期発見に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。また、各種予防接種を実施し、子どもの健康を守ります。 ・待機児童の解消に向け、既存施設の有効活用などのソフト面の手法と施設の整備などによるハード面の手法を併用することにより、保育サービス量の拡充に取り組むとともに、保育の質の向上を目指します。また、地域の様々な人材や団体、施設などの社会資源との連携や協働を図り、地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりを進めます。 ・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。 | |

1 重要業績評価指標 (KPI)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|---------------------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 新生児訪問実施率 | % | 97.0 | | | | | |
| | | 86.9 | 86.1 | 80.7 | | | |
| | | / | B | C | | | |
| 特定教育・保育施設の数 | 箇所 | 54 | | | | | |
| | | 47 | 50 | 55 | | | |
| | | / | A | A | | | |
| 安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合 | % | 50 | | | | | |
| | | 48.5 | 50.3 | 49.6 | | | |
| | | / | A | B | | | |

進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|---|--|
| 担当課 評価 | <p>新生児訪問では発育状況の確認や子育て相談や情報提供を行い、母子の健康増進と子育て不安の解消に寄与した。里帰り先で訪問を希望する家庭には里帰り先の自治体に訪問依頼をに対応した。新生児訪問を未利用の家庭には、3～4か月児健診等で状況確認を行った。3～4か月児健診97.5%、1歳6か月児健診97.6%、3歳児健診97.8%。平成28年10月からB型肝炎ワクチン接種を定期予防接種とし充実を図った。予防接種ナビちっくんの登録者数は平成28年度末5,785人と増加し平均予防接種率は92.2%で健診とともに高水準を維持し子供の健康維持の役割を果たした。</p> <p>認可保育所（私立保育園）の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備支援を実施し、平成29年4月1日付けで認可保育所を2施設開設した。また、市内保育施設に対して、市職員による巡回支援や保育従事者を対象とした研修などを実施し、保育の質の向上を図った。</p> <p>子育て中の親の孤立化の防止や子育て不安の解消を図るため、市内11ヶ所で子育てひろば事業を実施したほか、市保育士やボランティアによる子育てひろばや市民団体の子育てひろば活動への補助を行った。義務教育終了前までの児童を対象に医療費の助成や児童手当の支給を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。</p> |
| B | |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>新生児訪問、各種乳幼児健診、予防接種、予防接種ナビは年間通じて実施する。新生児訪問から必要に応じて保健師の継続相談等につなぎ早期から支援できる体制を継続する。各種健診では子どもの健康増進と共に子育て支援の機会になるよう実施する。予防接種は安全に実施されるよう予防接種ナビは継続実施し、市民及び協力医療機関への情報提供等に努めていく。</p> <p>引き続き、認可保育所等の保育施設の整備を行うほか、多様な実施主体の協力を得ながら一時保育・定期利用保育などの保育サービスの充実を図る。また、今年度から開始した保育コンシェルジュによる相談窓口業務を通じて、各子育て世帯に応じた保育サービスの提案を行う。</p> <p>地域で子育てひろばを展開するとともに、市立保育所の地域子育て支援拠点の整備を進める。また、手当・医療費助成とともに継続して法令等に基づき実施をすることにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p> | |

評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B：AとC以外の割合

C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|---|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ の実績は低下傾向にはあるが、3～4ヶ月検診の受診率は97.5%と高水準であり、子どもの発達状況等の把握は十分にできていると判断できる。 ・ については着実に増加しており、保育サービスの拡充が継続して取り組まれている。巡回支援、保育者への研修の実施など質の向上に向けた取り組みも高く評価できる。 ・ については、現代の子育て家庭に重要な親同士の交流や子育て相談など親の孤立化を防ぐ取り組みも実施されており、これらは今後も継続して充実を図ることを期待したい。 |
| B | |

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|--|-------------------|
| 基本目標 | 4 | 地域とつながる安心な暮らしの確保 |
| 基本的方向 | 1 | みんなが安心して暮らせる地域づくり |
| 具体的な施策 | | 防災・防犯体制の強化 |
| 主担当課 | 防災危機管理課、地域安全対策課 | |
| 施策概要 | ・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|---------------------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合 | % | 80.0 | | | | | |
| | | 62.2 | 57.4 | 62 | | | |
| | | / | B | B | | | |
| 地域安全リーダー講習会受講者数 | 人 | 450 | | | | | |
| | | 311 | 332 | 354 | | | |
| | | / | A | A | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|------------------|---|
| 担当課 評価 | <p>防災の基本である自助について、広報番組「まるごと府中」や職員の出前講座等を通じて、家庭でできる取り組み（家具の転倒防止、災害用持ち出し袋の備蓄等）の必要性を説明してきた。また、市内の文化センター圏域ごとに自主防災連絡会を創設し、地域特性等に合わせた防災活動を展開することで、市民が自ら主体的に「災害に強いまち」を作り上げることを目的とした連絡会を開催した。</p> <p>課題である若年層の防犯活動への参加を促し推進するため、防犯イベント等を利用し、魅力ある防犯活動、そして自主防犯活動の大切さを啓蒙するとともに、地域安全リーダー講習会への積極的参加を促した結果、地域安全リーダー講習会参加者に若干反映され、女性の参加者も増加した。（全体22名、女性4名、若年層8名）28年度からプロの劇団員による寸劇防犯講話を開催し、特殊詐欺被害防止に市として努めた。メール配信等を積極的に活用し、市民が求める有効な防犯情報を提供するとともに、府中防犯協会と協働でボランティア団体と行政、警察が一体となった防犯活動を積極的に推進した。</p> |
| B | |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| | <p>引き続き、上記の取り組みを推進する他に、平成29年度には水害ハザードマップを新たに作成し全戸配布をすることで、最新の浸水想定等を周知するとともに、新たに、浸水継続時間マップや避難行動指針チェックチャート等を併記することで市民に防災情報を理解してもらい、地域の防災体制の強化を図っていく。</p> <p>ながら見守り連携協定を府中新聞販売同業組合と協定を締結し、東京都信用金庫協会・宅建取引業協会並びに不動産協会と、本市及び府中警察署の四者で協定を締結した。</p> <p>今後、子供に対する犯罪や特殊詐欺の発生状況などの情報は締結を結んだ業者に発信し、安全で快適に暮らせる持続可能なまちを更に構築する。</p> <p>寸劇による特殊詐欺被害防止等の防犯講話は引き続き実施する。</p> |

- 評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上
 B：AとC以外の割合
 C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> について、タイムリーな水害ハザードマップ作成などツールを使い、市民へ情報提供できる仕組みが出来たことは評価できる。一方で、全国各地で起きている自然災害を教訓にもう少しアクションがあっても良いのではないかと。地域単位の防災訓練などを一層強化し、自主的に防災に取り組むような施策を検討してほしい。 については、寸劇やながら見守りなど、安全に対する活動は評価できる。また地域安全リーダー講習会への女性参加者増は、自主防犯活動において良い兆候だと捉えられる。更なる若年層、女性の参加を増やすよう取り組みを続けてほしい。 |
| A | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (KPI) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|---|----------------------|
| 基本目標 | 4 | 地域とつながる安心な暮らしの確保 |
| 基本的方向 | 1 | みんなが安心して暮らせる地域づくり |
| 具体的な施策 | | 公共施設・インフラの計画的な管理及び運営 |
| 主担当課 | 建築施設課、管理課、公園緑地課 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。 ・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画に基づき、推進します。 | |

1 重要業績評価指標 (KPI)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|----------------------------------|-----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 公共施設の市民 1人当たりの 延床面積 | ㎡/人 | 現状維持 | | | | | |
| | | 2.52 | 2.49 | 2.48 | | | |
| | | / | A | A | | | |
| 公園や都市緑化で 緑あふれるまちと しての市民満足度 | % | 74.0 | | | | | |
| | | 70.3 | 76.2 | 76.7 | | | |
| | | / | A | A | | | |

- 進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|--|--|
| 担当課 評価 | <p>国が策定したインフラ長寿命化基本計画に基づき、公共施設及びインフラの現況や課題を改めて整理し、公共施設マネジメントとインフラマネジメントが連携して、総合的かつ計画的な施設の維持管理に取り組むため、パブリックコメント手続を経て、府中市公共施設等総合管理計画を策定した。最適化の取組としては、意見交換会やパブリックコメント手続を実施し、市民意見を踏まえて学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針を策定した。計画的保全の取組としては、効果的な予算配分につなげるため、引き続き、施設の劣化状況調査と施設所管課に対するヒアリングを実施し、工事の優先順位付けに結果を反映した。</p> <p>街路樹や公園樹木の適切な維持管理を行っていくために、「安全性の確保」、「良好な環境と景観の形成」、「維持管理費の軽減」を考慮した、府中市街路樹の基本方針等を策定した。また、インフラマネジメントの推進については、平成29年度のインフラマネジメント白書・計画の改定に向け、施設の数量などの現況調査を実施した。</p> |
| A | |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>最適化の取組については、第1次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づく施設所管課の取組状況の把握や調整を行う。計画的保全の取組については、施設情報を一元的に管理するためのシステムを構築するとともに、新たな施設管理の手法として、包括施設管理委託導入の検討を進める。また、平成30年度から平成33年度を計画期間とする第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを策定する。</p> <p>平成24年度のインフラマネジメント計画策定後の、国による法改正等に対応するため、有識者を含めた協議会の中で現行の施策の評価を行い、平成64年度までを期間としている計画の改定をする。街路樹や公園樹木については、昨年度に策定した方針等に基づく管理を実施することで、適正な維持管理を推進する。また、平成30年度から平成32年度までの3年間で試行的に実施する、道路等包括管理事業（北西地区）の受託者の選定を行う。</p> | |

- 評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上
 B：AとC以外の割合
 C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ともに数値変動はほぼ皆無であり、進捗状況が着実に進んでいると評価できる。取組内容についても、計画や方針を定め、地域の実情をとらえ、諸問題に対する取り組みが実施されている、もしくはされる体制が構築できているのではないかと考えられる。今後、各種定められた計画・方針の着実な実施を期待したい。 新たな施設管理手法（包括施設管理）の導入を検討とあり、費用対効果の観点からも是非進めてほしい。また、包括施設管理の委託先、もしくは再委託先に求めたいのは管理面だけでなく「まちづくり府中」のような地域をマネジメントする機能を有する団体との連携も視野に入れ取り組んでほしい。 |
| A | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | |
|--------|---|------------------|
| 基本目標 | 4 | 地域とつながる安心な暮らしの確保 |
| 基本的方向 | 2 | 地域コミュニティの活性化 |
| 具体的な施策 | | 地域交流・活動の促進 |
| 主担当課 | 地域コミュニティ課、協働推進課、指導室 | |
| 施策概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。 ・相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び東京農工大学をはじめ、市内の企業やNPO等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。 | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|-------------------------|----|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数 | 人 | 231,000 | | | | | |
| | | 222,427 | 228,575 | 238,754 | | | |
| | | / | A | A | | | |
| 市と大学や企業等が協働実施している事業数 | 事業 | 現状値以上 | | | | | |
| | | 59 | 56 | 41 | | | |
| | | / | B | C | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の取組内容と評価】 | |
|---|--|
| 担当課 評価 | <p>天候に左右される屋外でのスポーツ行事の会場を体育館等に変更するとともに、学校行事と重ならない日程を設定することにより、圏域住民の参加を促進できた。</p> <p>大学連携については、市内大学との協働・連携推進会議を開催するなど、相互に事業提案・調整を行うことで、新たな事業の実施や連携事業数を増やすことができ、順調に連携体制の充実を図ることができている。</p> |
| B | <p>コミュニティ・スクール事業においては、学校と地域とが連携して、放課後補習授業、運動会での地域参加種目の設定、ボランティア活動などの新たな取組がなされるようになった。</p> |
| 【平成29年度における取組など】 | |
| <p>地域性を活かした新しい事業も企画・立案し、事業に参加したことのない方にも足を運んでもらえるよう働きかけたい。併せて将来も行事が継続していくよう後継者の育成も思案していきたい。</p> <p>協働先の大学や企業等の新規開拓を行うとともに、すでに連携体制が構築されている大学や企業等についても、事業内容の更なる充実を図っていきたい。</p> <p>コミュニティ・スクール事業については、引き続き、地域の教育力を生かして推進していきたい。</p> | |

評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B：AとC以外の割合

C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> については、「雨天時を想定したスポーツ行事の会場変更」や「学校行事に配慮した日程設定」など参加者数を確保のための工夫や配慮がなされ、前年度比で参加者数が増加している点は評価できる。現状値からの推移においても年々増加傾向にあり、この点も評価できる。今後、事業・行事の持続性の観点から、文化センター圏域ごとに実施・運営上の課題を整理して対応策を検討し、文化センター間で共有してほしい。 |
| B | <ul style="list-style-type: none"> については、前年度比で大幅に事業数が減少している。担当課による評価としては、大学連携については事業実施や連携事業数を増やすことができたとの評価であるが、企業連携については言及されていない。企業連携に要因があるのかも含めて、事業数が前年比大幅減となった要因分析に努めてほしい。 |

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 28 年度)

| | | | | |
|--------|---|------------------|-----------------|--|
| 基本目標 | 4 | 地域とつながる安心な暮らしの確保 | | |
| 基本的方向 | 2 | 地域コミュニティの活性化 | | |
| 具体的な施策 | | 空き家などの活用 | | |
| 主担当課 | 環境政策課 | 関連課 | 住宅勤労課、地域コミュニティ課 | |
| 施策概要 | ・ 空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。 | | | |

1 重要業績評価指標 (K P I)

| 指標名 | 単位 | 現状 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H31 年度 |
|-----------------------------|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 | 進捗 |
| 空き家等を活用した コミュニティ活動 事例 | 人 | 実施 | | | | | |
| | | 未実施 | 未実施 | 未実施 | | | |
| | | | C | C | | | |

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

| 【平成28年度の実施内容と評価】 | |
|------------------|---|
| 担当課 評価 | <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度における関係課との連携・協議に加え、平成28年度より、附属機関（府中市空家等対策協議会：会長・市長）における本市空き家対策に係る審議を開始した。具体的な審議内容は、平成29年度中の公表を予定する空き家対策計画の作成に係るものであり、その中で空き家利活用の方向性も定めることとしている。 空き家利活用の主担当課を中心に庁内関係課の意見も整理（ ）したうえで、附属機関において、空き家利活用の方向性は「基本方針」という形で平成28年度内に一定の結論を得た。（相談体制の整備・関係事業者との連携により市民の取引時における利活用活性化を図ること、公共目的での利活用は各施策を進めるにあたって個別事案ごとに必要な場合に検討すること、という2点に方向性を整理した。） <p style="text-align: center;">附属機関の審議と並行し、庁内の意見調整が必要な場合は「府中市空き地・空き家対策庁内検討委員会」を運営し関係課との連携を図っている。</p> |
| C | <p>【平成29年度における実施など】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度中に計画の公表を予定している。空家等対策の推進に関する特別措置法第3条（ ）に定めるとおり、空き家対策の原則は所有者等による自己管理にあるため、空き家利活用についても、平成28年度に定めた「基本指針」に則り、その原則との整合を図り検討を進めていく。 <p>参考：空家等対策の推進に関する特別措置法第3条 （空家等の所有者等の責務）</p> <p>第3条 空家等の所有者又は管理者（以下「所有者等」という。）は、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、空家等の適切な管理に努めるものとする。</p> <p>・本年度は、東京都及び調布市と共催で、空き家等対策の推進及び啓発を目的に、懸念される居住環境の悪化、防災面で課題となる空き家問題、利活用の推進など、空き家にまつわる基本的な問題・課題を共通テーマにしたセミナーを4回開催する予定です。</p> |

評価 A：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「A」の割合が60%以上

B：AとC以外の割合

C：重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における「C」の割合が60%以上

3 進捗状況評価（協議会）

| 【担当課評価などに対する意見】 | |
|-----------------|--|
| 協議会 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・空家対策協議会の審議が開始され、公表に向けての計画、また、空き家利活用の審議がなされていることは評価できる。空き家や空き店舗の活用には、法的整備も必要だが、市民協働による地域の拠点として、使いやすく、様々な市民のアイデアが取り入れられる、柔軟な体制づくりを期待したい。 ・現在、大学の若い人たちの空き家利用が進められていると聞いた。また、子育て家庭や多世代交流や相談できるまちづくりの拠点としても、今後の空き家利用を柔軟に進めてほしい。 |
| B | |

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。